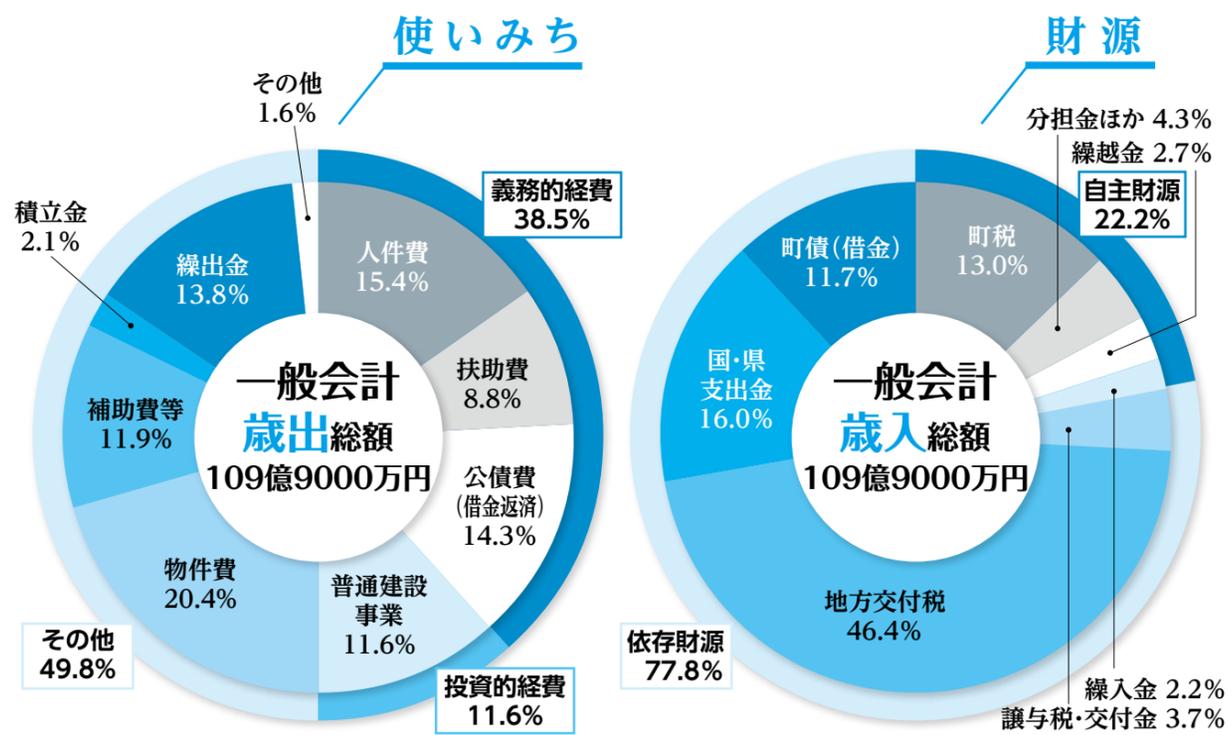


# 新年度の 予算の 内訳は

平成28年度一般会計の当初予算は、総額109億9000万円で、昨年度から6000万円の増額となっています。

歳入では、町税は税率改正などにより増収を、地方交付税は実績を加味し増額を、町債(借金)は事業の終了などで減額をそれぞれ見込んであります。自主財源比率は約22%と低い水準となっています。

歳出では、扶助費が臨時福祉給付や介護などへの給付などで約17%の大幅増、物件費が各種事業の委託や備品購入などで4年連続の増額を見込んであります。



## 一般会計 内訳(金額・説明)

項目	28年度	27年度	比較増減	説明	
歳入	町税	14億2931万円	13億9254万円	3677万円	町民税などみなさんが直接町に納められるお金
	分担金ほか	4億6781万円	3億8471万円	8310万円	分担金・使用料・財産収入・寄附金
	繰越金	3億円	2億円	1億円	前年度からの繰越金
	繰入金	2億4399万円	3億9602万円	△1億5202万円	特別会計や基金から繰り入れるお金
	譲与税・交付金	4億523万円	4億739万円	△216万円	市町村の均衡をはかるために国が交付するお金
	地方交付税	51億円	50億5000万円	5000万円	市町村の均衡をはかるために国が交付するお金
	国・県支出金	17億5584万円	17億6052万円	△468万円	国や県が使用目的を特定して交付するお金
町債(借金)	12億8780万円	13億3880万円	△5100万円	町が事業を行うために借り入れるお金	
合計	109億9000万円	109億3000万円	6000万円		
歳出	人件費	16億9432万円	17億6188万円	△6755万円	職員の給料や議員報酬などに使うお金
	扶助費	9億6974万円	8億2746万円	1億4227万円	医療費・子ども手当などに使うお金
	公債費(借金返済)	15億7110万円	15億6890万円	219万円	町の借金を返済するためのお金
	投資的経費(普通建設事業)	12億7986万円	13億8933万円	△1億947万円	道路整備・建物などの建設に使うお金
	物件費	22億4355万円	20億8672万円	1億5682万円	賃金・業務委託料・消耗品・備品購入に使うお金
	補助費等	13億629万円	14億5968万円	△1億5338万円	補助金・負担金
	積立金	2億3108万円	1億7367万円	5740万円	町の基金に積み立てるお金
繰出金	15億1593万円	15億5221万円	△3627万円	特別会計に繰出金として支出するお金	
その他	1億7810万円	1億1010万円	6799万円	施設の維持補修費、貸付金・出資金などに使うお金	
合計	109億9000万円	109億3000万円	6000万円		

## 診療所の運営は

診療所特別会計は、名和・大山・大山口の3つの診療所を運営するための会計です。

平成28年度は、大山診療所で人間ドックを開始するため、健診手数料が多く見込んであります。

しかし、他会計からの補てんがないと会計は成り立ちません。貴重な地域医療資源が有効活用されるよう、議会も注視していきます。

項目	金額	説明
診療収入	2億6154万円	診療報酬
サービス収入	924万円	リハビリ収入
使用料及び手数料	3612万円	健康診断手数料など
財産収入・諸収入	1017万円	大山診療所2階貸付収入など
繰入金	6676万円	他会計からの繰入金
合計	3億8384万円	
総務費	1億9191万円	給料・施設管理費など運営に係る経費
医業費	1億7150万円	薬代や医療機器に係る経費
公債費	2012万円	借金返済
予備費	30万円	
合計	3億8384万円	

## 貯金と借金は?

